

# 生涯学習センター きらめき 市民によるピアノ演奏会 室内楽演奏会

第1土曜日の音楽の楽しみをご存じですか。

生涯学習センター きらめきホールでは、毎月第1土曜日の午前と午後、市民の皆さんが気軽に音楽に親しんでいただけるように、クラシックの演奏会を開催しています。

## 市民によるピアノ演奏会



子どもピアニストの皆さん

生涯学習センターでは、きらめきホールにあるスタインウェイピアノ「フルコンサート型」の音色や音質をできるだけ多くの人に味わっていただくために、ピアノ演奏会を開催しています。

1年に1回ほど広報『いばらき』で演奏者を募集しています。

平成17年度は4歳から80歳代の方まで幅広く参加され、さまざまな曲を演奏されました。

演奏会の鑑賞はどなたでもできます。予約や入場料はいりません。お問い合わせの上、お気軽にお越しください。

## 室内楽演奏会

室内楽演奏会はすでに8回催しています。演奏を受け持っているのが、NOVA MUSIKER（ノヴァ ムシカー）という団体で、新進気鋭の若い音楽家たちの集まりです。若い音楽家たちは、それぞれが専門教育を受け、さらに研さんを重ね、音楽技術の向上を目指し、音楽芸術を高めたい意欲のもとに集まり、茨木市民のために素敵な音楽を提供し続けています。

室内楽演奏会には多くの市民が来場。ノヴァ ムシカーの演奏を励ましています。こうした環境は、若い音楽家たちを刺激します。

プログラムの組み方を勉強したり、さまざまな楽器同士の対話を盛り込むよう、アンサンブル曲の演奏を試みたりもしています。

ノヴァ ムシカーのメンバーが心をこめて演奏する室内楽演奏会。ぜひ、お越しいただき、楽興のひとときをお楽しみください。

- 毎月第1土曜日
- 市民によるピアノ演奏会 10:00 開演（12月は開催しません）
- 室内楽演奏会 14:00 開演（12月は第2土曜日に開催）
- 生涯学習センター きらめきホール
- 入場無料



「ノヴァ ムシカー」演奏者の皆さん

**生涯学習センター きらめき**  
〒567-0028 茨木市畑田町1-43  
TEL 624-8182



# 生涯学習センター きらめき講座 生き物不思議発見—春夏編—

きらめき講座の自然科学コースでは、「生き物不思議発見」という講座を開講しています。身近な動植物の不思議なしくみや行動を学び、そこから自然環境についても考えていく講座です。

そこで、意外と知られていない生き物たちの意外な姿について、担当の圓入克介先生に話を聞きました。

## 身近な植物と動物（昆虫）の「不思議な関係」について聞かせてください。

タンポポやヒガンバナの茎から出る白い液やホウレンソウのあく、シソやネギやハーブの香りなどは、実は昆虫の食害を防ぐためのものです。ワサビやタマネギも、擦ったり切ったりすると辛くなるのは、細胞が壊れることによって辛味の成分が強くなるからです。昆虫に食べられた傷口付近で辛味を増して昆虫を撃退するという、高等戦術なのです。

一方、昆虫の側はなにもしないのかというと、対抗策を立てています。ウマノズクサという植物は昆虫対策の毒をもっていますが、ジャコウアゲハの幼虫はその毒が効かない体質を作り、その毒を体内に貯えて幼虫を食べる鳥に一矢報いる作戦に出るのです。さらに体にマークを付け、鳥に警告のサインまで送っているのです。

## 植物と動物（昆虫）がお互いに助け合う関係（共生）を結んでいるようなものはありますか。

花粉の運び屋としての昆虫と友好的な契約を結んでいる植物もたくさんあります。レンゲの雄しべを包んでいるカバーはミツバチによってのみ開かれるし、ツツジやユリの花の蜜はチョウ専用で、その長い口で吸う間に羽に花粉が付くというしくみです。

これらの植物と昆虫の関係は一億年の歴史の中で出来上がったもので、自然界の不思議に改めて感心させられます。

移動することができない植物は、動物との敵対関係、あるいは友好関係を結びながら生活をしています。そのために、植物はホルモンを出すなど多種多様な化学物質を作り、自分の身を守っているのです。

**最近、植物の世界でも外来種のことよく話題になりますが、在来種と外来種の「不思議なお話」を聞かせてください。**

最近、タンポポの世界に異変が起こっています。古来日本に分布していた在来種のタンポポ（カンサイタンポポなど）の世界に、外来種であるセイヨウタンポポが侵入してきたのです。このセイヨウタンポポの繁殖力は強く、花粉がなくても雌しべだけで種を作ることができますし、また年に何回も花を咲かせます。セイヨウタンポポの広がりとともに、注目したいのがセイヨウタンポポと在来種のタンポポとの雑種で、それがどんどん広がっているのです。

家の周りのタンポポがはたして何者（どのような種類）なのか観察してみるのも楽しいですよ。見分け方は、花を包んでいる緑の総包外片が下向きにそり返っているのがセイヨウタンポポで、そり返らず花の根元を包んでいるのが在来種のタンポポです。その中間で横に広がっているのが、在来種とセイヨウタンポポの雑種といえます。



カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ

**「生き物不思議発見」の学習を通して受講生の皆さんに伝えたいメッセージをお願いします。**

本講座では、動植物の生きる姿や自然のしくみを垣間見ることによって、自然に対する新たな知的好奇心をもつていただくことをねらいにしています。次回が楽しみになるような講座、学んだことを誰かにしゃべりたくなるような講座、そして、自分でもう少し調べたくなるような講座を目標にして、受講生の皆さんといっしょに楽しんでいきます。人間も自然の一部だという考え方を持つことで、私たちの精神生活はもっと豊かになるでしょう。